

袋井B&G海洋センターの指定管理者の指定については、安心・安全という面が重要視されたとのことで、選定するにあたって十分調査されたのか。また、安心・安全の部分はどのようにとらえ、地域の貢献や経験への配慮は。

プールにおいては、安心・安全面での管理能力は非常に大切な能力である。選定申請書類が出された段階で、事細かく調査・分析しており、総合的に判断し結果が出された。また、今回の選定委員会の考え方として、公平公正を全面に出し、前回選定基準の審査項目であった地域の貢献は入れなかった。



指定管理者制度を導入した袋井B&G海洋センター

袋井市議会の会議録検索システムの利用状況はどうか。

平成18年9月1日から会議録検索システムを開始し、旧袋井市の平成15年3月定例会及び旧浅羽町の平成15年1月臨時会から見ることができる。アクセス件数は9月が1,978件、2月までの合計は3,998件である。インターネットを経由して、発言者名や文書内容、また同義語検索など多彩な検索ができるシステムである。

「いじめホットライン・いじめホットメール」について、大変効果があると思うが、PRの方針は。

昨年12月11日の開設の際に、子ども達全員に電話番号等を知らせた。現在までの相談は35件。PRの仕方は、いろいろなところで話題としたり、広報紙へ掲載したりしている。

今回は、PTAの新聞でもPRしたが、お知らせカードの配付など、研究していかなければならないと考えている。

3億円をかけて整備する「デジタル移動通信システム」、事業の目的と内容は。

全市域を一元的にカバーする無線システムの構築が急務であったことに加え、現在使用しているアナログ式地域防災無線が、電波法の改正により、平成23年5月31日以降使用できなくなることから、デジタル移動通信システムの整備が必要となった。豊沢地内への基地局の整備や市役所内への統制局の整備、避難所などへの半固定局の設置及び携帯型無線機器の導入等を計画している。

19年度から小児生活習慣病予防対策事業を実施することとなった背景及び委託料105万円の内容は。

現在、市内の小学5年生及び中学2年生の全員を対象として、血液検査、血圧測定、身体測定を実施している。その結果が思わしくない児童・生徒に対しては、現在も、市の保健師や栄養士による指導を行っているが、19年度から予定している本事業では、さらに、検診結果の専門的な分析を大学等に委託し、指導方法の助言等をいただきながら指導にあたる。